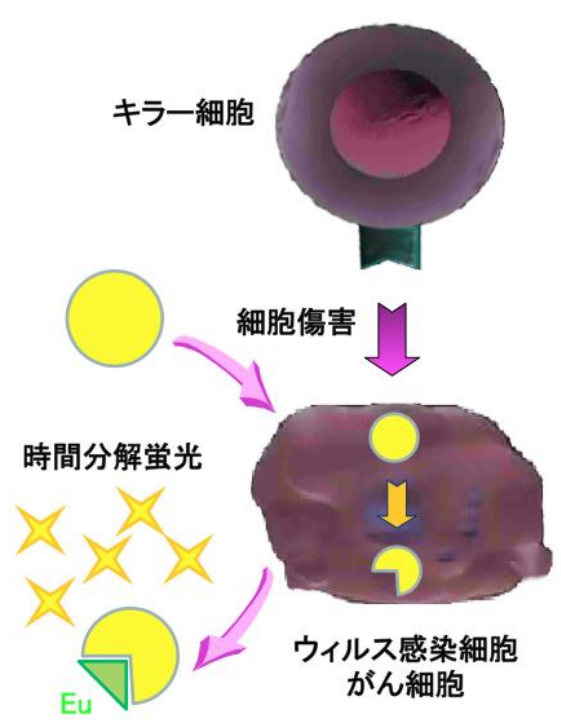


細胞障害性検出キットの開発

[技術の概要]

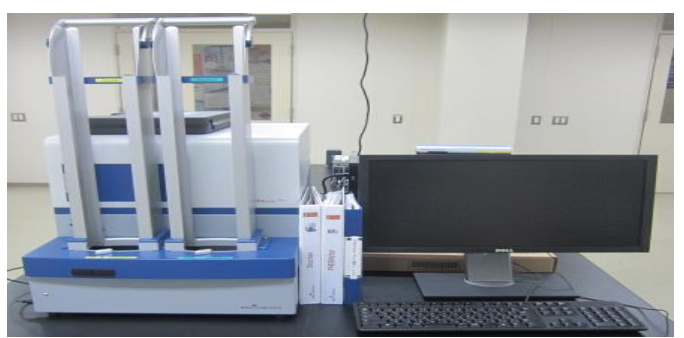
新規化合物および時間分解蛍光を用いた細胞障害アッセイキットの開発



ウイルス感染した細胞は、ナチュラルキラー細胞やT細胞に認識され、障害を受ける。細胞障害を定量する従来の γ 線を用いたアッセイは煩雑である。我々は、非RI標識による高感度でHTSに利用可能な新規細胞障害アッセイ法を確立することに成功した。

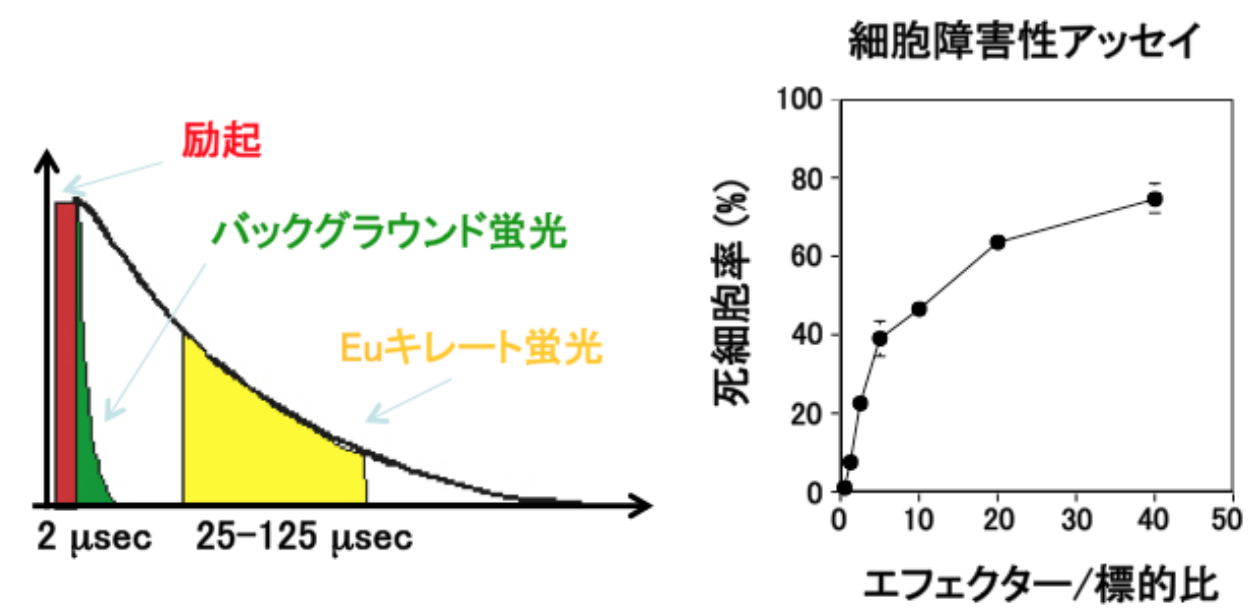
使用機器

PHERASTAR FS (BMG LABTECH)



[技術の利用例]

新規キレート剤による時間分解蛍光を用いた非RI標識高感度細胞障害アッセイ系を樹立した。



連絡先

[所属] 長崎大学創薬研究教育センター

[名前] 植田弘師、田中義正

[E-mail] ueda@nagasaki-u.ac.jp

ystanaka@nagasaki-u.ac.jp